



『距ててて』 監督：加藤紗希



1. あなたのプロフィールを書いてください。名前、生年月日（不記載も OK）、出身地、どこで映画を学んだか、フィルモグラフィーなど。

加藤紗希

1989年愛知県出身。振付師・俳優。幼少期よりダンスを始め、中学生でミュージカルを経験。舞台製作・振付・出演などを経て、2017年映画美学校アクターズコースに通い、映画製作に興味を持つ。初監督作『泥濘む』が PFF2019 入選。今作品が初長編作品。

2. 映画を志したきっかけについて書いてください。

舞台をやっているときから、映画製作をしている友達が周りにおり、現場に参加するなど 20 歳頃からしていました。とある映画に振付と出演で参加したときの現場に感動をして、映画を本格的に学びたいと思い、映画美学校アクターズコースに通いました。

3. 影響を受けた監督、作品、その他、小説、芝居なんでも構いません。

難しいです、様々な作品を観ているので影響は受けていると思いますが、特にこれというものは分かりません。でも『距ててて』は、脚本の豊島さんからオムニバスにするのはどうだろうというアイデアを言われたときにたまたま直近で観ていたエリック・ロメールの『レネットとミラベル』が近いかなあと思い、少し参考にしました。

4. 出品した作品を作った意図はなんですか。

最初に作った作品が PFF に入選して、沢山の方に観ていただいた経験がとても大きくて、さらに長い作品を同じキャストで作りたいと思い作ったのが『距ててて』です。

5. 近い将来、遠い将来の目標はなんですか。

自分が好きだなと思う人たちとのものづくりをし続けたいです。

6. 現在の日本で映画を作る環境について、何か意見はありますか。

意見というとなんだか偉そうですが、色んな面で余裕のある時間でものづくりができるといいなと思います。ご飯が美味しいとテンションが上がります。

7. 現在、あなたには特定のプロデューサーはいますか、また、映画製作の資金調達はどうなっていますか。

全て自分たちで行っているので特にいません。資金調達は難しく、どうしたらよいかはまだ探り中です。

8. 次回作の企画があれば、開示できる範囲で書いてください。

これから考えます。

9. 映画以外に趣味があれば書いてください。

散歩が好きなのと、最近はドラムを練習しています。